



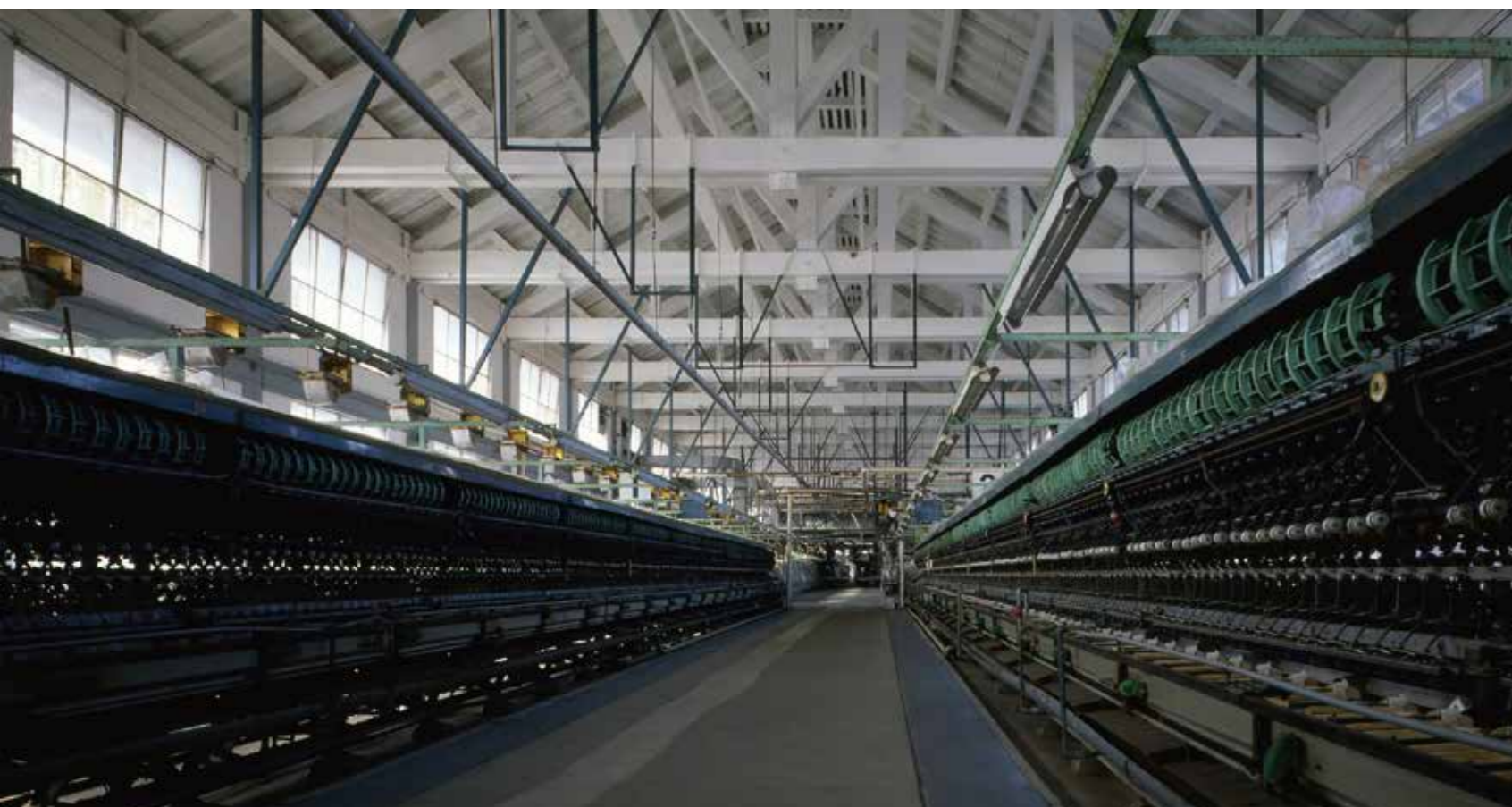
# 企画展「富岡製糸場と絹産業遺産群」

「富岡製糸場と絹産業遺産群」は、平成26年6月25日、カタールのドーハで開かれた第38回ユネスコ世界遺産委員会において、世界文化遺産に登録され、令和6年に登録10周年を迎えます。

本企画展では、ユネスコ世界遺産委員会で世界遺産登録を決定する際に採択した「決議文」から世界遺産としての価値を読み解き、4つの資産の果たした役割や連携を紹介します。また、世界遺産を支えた人々や各資産の最新情報、更には、富岡製糸場から田島弥平旧宅、高山社跡、荒船風穴へのアクセス情報を周辺の温泉地や観光地などの情報と併せて紹介します。



交通のご案内  
電車等: 上信電鉄上州富岡駅から徒歩約15分  
乗用車: 上信自動車道富岡IC下車、  
各駐車場まで約10分(3km)、  
駐車場より徒歩約10分(500m)



## 富岡製糸場 フランスの技術を導入した日本初の本格的製糸工場

1872(明治5)年に明治政府が設立した官営の器械製糸場です。民営化後も一貫して製糸を行い、製糸技術開発の最先端として製糸業を世界一の水準に牽引しました。また、田島家、高山家、荒船風穴などと連携して、蚕の優良品種の開発と普及を主導しました。和洋技術を混交した工場建築の代表であり、長さ100mを超える木骨造瓦造の2棟の置繭所や繰糸所など、主要な施設が創業当時のまま、ほぼ完全に残されています。

・富岡製糸場内総合案内所 TEL: 0274-67-0075



## 田島弥平旧宅 瓦屋根に換気設備を取り付けた近代養蚕農家の原型

通気を重視した蚕の飼育法「清涼育」を大成した田島弥平が、1863(文久3)年に建てた住居兼蚕室です。間口約25m、奥行約9mの瓦葺き総2階建てで、初めて屋根に換気用の越屋根が付けられました。この構造は、弥平が「清涼育」普及のために著した。「養蚕新論」「続養蚕新論」によって各地に広まり、近代養蚕農家建築の原型になりました。

・伊勢崎市文化財保護課 TEL: 0270-75-6672  
・田島弥平旧宅案内所 TEL: 0270-61-5924



## 高山社跡 日本の近代養蚕法「清温育」を開発した場

1883(明治16)年、高山長五郎は、通風と温度管理を調和させた「清温育」という蚕の飼育法を確立しました。翌年、この地に設立された養蚕教育機関高山社は、その技術を全国及び海外に広め、清温育は全国標準の養蚕法となりました。1891(明治24)年に建てられた住居兼蚕室は「清温育」に最適な構造で、多くの実習生が学びました。

・藤岡市教育委員会文化財保護課 TEL: 0274-23-5997  
・高山社情報館 TEL: 0274-23-7703



## 荒船風穴 自然の冷気を利用した日本最大の蚕種貯蔵施設

1905(明治38)年から1914(大正3)年頃に造られました。岩の隙間から吹き出す冷気を利用した蚕種(蚕の卵)の貯蔵施設で、冷蔵技術を活かし、当時年1回だった養蚕を複数回可能にしました。3基の風穴があり、貯蔵能力は国内最大規模で、取引先は全国43道府県をはじめ朝鮮半島にも及びました。

・下仁田町教育委員会教育課文化財保護係(下仁田町歴史館) TEL: 0274-82-5345

## 群馬県立世界遺産センター 「世界を変える生糸(いと)の力」研究所(愛称:セカイト)

「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産としての価値をわかりやすく紹介するとともに、世界遺産や絹産業、絹に関する歴史文化等の研究に取り組み、総合的に情報発信しています。セカイトの愛称は、世界遺産に関連する研究を推進し、ここに来てもらえば「富岡製糸場と絹産業遺産群」のことは何でもわかるような場所に育てていきたいという想いを込めています。

・群馬県立世界遺産センター TEL: 0274-67-7821

